



十三中だより

令和6年12月2日(月) 12月号

校長 吉田 祐一

みずか かんが こうどう
自ら考え行動できる 前向きに努力できる こころ たいせつ
心を大切にできる

1ねん

ふかえ

ちようせい

じき

1年をじっくり振り返り、調整をする時期です

長いと思っていた2学期も最終月を迎える。このところ春と秋の期間が短かくなつたように感じます。季節の移ろいを感じながらゆっくりと生活する気持ちの余裕がなくなってきたように思うのは私だけでしょうか。ついこの間まで、「暑い」という言葉を発していたかと思うと、最近は「寒い」と言っている回数が増え、めっきり寒くなつてきました。この急激な変化がより一層、年末の気忙しさに拍車をかけてしまいます。

そんな風だけに、あえて気持ちを落ち着けて、1年を振り返ってみたいものです。春に、自身で決めた目標があったと思います。その立てた目標にどれくらい近づくことができたのか。目標を達成するために残りの4ヶ月でどう調整をしていくのかを考える気持ちの余裕と時間をあえて作ってください。ただ何となく、周囲のあわただしさに埋もれて一日一日を過ごしてしまうと、気がつけば「また、やってしまった」と同じことの繰り返しになってしまいます。もちろんしっかりと過ごすことができている人はその調子で進んでください。「今の自分が本当にめざしていた状態なのだろうか」と感じている人は、ちょっと違った力を加えて調整してみてください。そんな12月にしてみましょう。

進路選択は義務教育最終年の一番のイベント

先週末、期末テストが終了しました。これで今学期の成績が出そろったことになります。あとは、提出物が滞りなくかつ十分な形で提出できているかです。3年生は、その結果をもとに11日(水)から始まる進路懇談で進路を決定していきます。志望する学校をしっかりと調べましたか。オープンスクールや学校説明会には参加しましたか。私立高校にしろ公立高校にしろ、学校の難易度だけで決めるのではなく、その学校の特徴を分かったうえで、進路選択は、自分の目標だけではなく、夢や目的に近づけるための選び方をする必要があります。もちろん家族の人の考え方を聞き、思いも知り、そして、担任の話を聞く。そういった情報をもとに、自分の考え方や思いを伝え、進路選択してください。そして、大切なことは、最終は自分で決定し、自分で決めたことに言い訳をしない覚悟で臨んでください。